

— 新年のご挨拶 —

謹んで初春のお慶びを 申し上げます



新年おめでとうございます。
皆様におかれましては、輝かしく希望に満ちた新年を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。
昨年は、市民の皆様が安心安全とまちのにぎわいの両立を図り、「焼津みなとまつり」と「海上花火大会」を3年ぶりに開催するなど、コロナ禍後の「新しい日常」に向けて、新たな一歩を踏み出した年であったと実感しております。

また、世界情勢の変動による原油等の原材料の高騰、約32年ぶりとなる円安水準

による諸物価の急激な上昇は、皆様の日常生活のみならず、本市の各種産業に大きな変化と影響を及ぼした年でもありました。

市では、コロナ禍や、かつてないほどの速で変化する社会経済情勢に対応した「第6次焼津市総合計画第2期基本計画」を策定し、「住み続けたい、住んでみたい、行ってみたいまち」への取り組みを着実に推進しているところです。本計画では、「新たな日常への転換」、「DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進」、「人口減少対策」、「SDGsの推進」の4つの視点を持ち、施策を超えた横断的な取り組みを重点的かつ積極的に進めることとしています。

特に「DXの推進」においては、「書かない市役所」、「行かない市役所」を実現するため、「焼津市DX推進計画」に基づき、100件を超える各種申請の電子化や公共施設の電子予約の導入など、オンライン手続き支援サービスを実現し、さらに登録者数14万人超の焼津市公式LINEを活用し、クーポン配信等の新たなシティセールス・経済対策の取り組みを展開しているところです。

本年も、新たな日常に即した社会経済活動、地域活動への取り組みを進めるとともに、市民の皆様との小さな対話を積み重ね、皆様の健康、子育て、教育、暮らしにおける安心安全のため、全力で取り組んでまいりますので、引き続き市民の皆様のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が市民の皆様にとりまして良い年となりますよう心から祈念申し上げ、年頭のごあいさついたします。

焼津市長 中野弘道



新年おめでとうございます。

新春を迎え、市民の皆様のご健勝を心からお慶び申し上げます。

平素は、皆様方のご理解とご協力により、市議会の円滑な運営ができることにつきまして心から感謝申し上げます。

また、台風15号の影響により被災された方々には心からお見舞いを申し上げます。

昨年大きな出来事として、2月に冬季オリンピック競技北京大会において日本は冬季最多のメダル18個を獲得し、日本中に元氣や希望を与えてくれました。また11月から12月には、サッカーワールドカップでの日本代表の活躍に日本中が歡喜に沸いたことは記憶に新しく、粘り強く試合に臨む姿や仲間の大切さなどを感じられ大きな感動を与えてくれました。

市内におきましては、市立図書館の焼津図書館が100周年、大井川図書館は30周年を迎え、記念式典やイベントが開催されました。市制施行後、平成の市町合併などのさまざまな出来事がありました、多くの市民の皆様を支えられて現在の姿があると感じています。

また、市役所本庁舎に隣接して立体駐車場の建設が進められておりましたが、1月中旬には完成し、市民の皆様がより便利に快適にご利用いただけると思います。同じく、アトレ庁舎や大井川庁舎におきましても現在改修を行っており、新たな利活用を行ってまいります。

目まぐるしく状況が変わる時代の中、市民の皆様と行政および議会が協力し合い行動していくことが魅力のある、活力のある地域社会の実現につながるものと信じております。

市議会をいたしましては、市民の皆様の声に耳を傾け、信頼される議会を目指し一層の努力を重ねてまいります。

新しい年が市民の皆様にとりまして、明るく実り多き年でありまよう心からお祈り申し上げ、本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のごあいさついたします。

焼津市議会議長 池谷和正

【写真】石津浜の「日の出」

新春特別対談

俳優 長谷川直紀・永楠あゆ美

新たな年の幕開けに、市内在住で俳優の長谷川直紀さん・永楠あゆ美さんご夫婦を迎え、中野市長と対談を行いました。

お二人に、焼津市への思いや今年の目標などを語っていただきました。

問合先 シティセールス課 0626-2145

— 市長 長谷川さんには Uターンで焼津に戻ってきていただき、永楠さんにはご結婚を機に焼津に来ていただき、誠にありがとうございます。

また、昨年は焼津を舞台とした映画「海の色は夢のつづき」を製作・上映いただき重ねてお礼申し上げます。

— 焼津を舞台にした映画を製作されたきっかけは？

長谷川 U 自分たちにとって大切な俳優業がコロナ禍で一足なくなってしまったときに、「それでも映画に携わりたい」、「自分たちで作ってみたい」という純粋な思いがまずありました。そして、映画を作るのであれば生まれ育った焼津を舞台にして、静岡に縁がある方たちと一緒に取り組みたいと思い、2021年の正月頃から映画製作が具体的に始まりました。

— 焼津市の印象は？

永楠 焼津はゆったりとしていて、気持ち落ち着きます。海も近いし、山も見える。初めて焼津を訪れた時に、子どもを産んだり、人生を重ねていったりするのであれば焼津がいいなと感じました。焼津の皆さんはとても温かく接してくださるので、土地柄だけでなく人柄にも魅力を感じています。

長谷川 U ターンして焼津の魅力を見発見しました。都会では色々なことが常に起きている忙しさを感じましたが、焼津では自分たちが「新しいことをやってみよう」と思った時に挑戦できるような余白があると感じています。気候も温暖で住みやすい、自慢のまちです。



profile

長谷川直紀 (はせがわ なおき)

1986年焼津市生まれ。俳優。焼津で家業の漁業に携わりながら、東京で俳優として活動する2拠点生活を送っていた。コロナ禍により拠点を焼津に移し、2021年から焼津が舞台の映画「海の色は夢のつづき」を製作し、2022年上映。同作では、共同脚本と主演を務めた。

— 焼津市の好きな場所は？

永楠 初めに焼津を訪れた時に、石津浜が大好きになりました。石津浜は景色が素晴らしいのはもちろんですが、波が引いていく時に、「カラカラカラ」と石がぶつかる音がして、その音がすごく気に入っています。焼津の人にとっては、港から遠洋漁業の船が出ていく汽笛の音も当たり前と思っているかもしれませんが、この音も外の人からは魅力的に感じていると思います。

— 今年の目標を教えてください。

長谷川 やはり次の映画製作に向けて具体的に動き出したいですね。焼津はもちろんのこと、静岡県にはたくさん魅力があるので、その魅力を伝えられるような作品作りに取り組みたいです。

永楠 私自身は役を演じる中で、自分を見つめ直したり、世界観が変わったりする体験をしています。なので、そんな体験が届けられるような、演劇のエッセンスを取り入れたワークショップをやりたいです。

— 将来の夢や目標は？

長谷川 静岡を舞台にした映画を3部作で作りたいと考えています。映画を観ていただいた方に、人生の喜びや自分がやりたいことを見つけていただけるような、そういった心が動くような作品を作っていきたいと考えています。

永楠 私は焼津に来て、最前線にいたいだけでなく、少し距離を取って自分の生き方を見つけていけるのも素晴らしいと感じています。だから今後は、出会う方々の人生の「自分らしい選択」を後押しできるような活動がしたいです。

— 市民の皆さんへのメッセージをお願いします。

永楠 普段見ている景色や聞いている音が、そこにあるのが当たり前になると、心が震えることが少なくなってしまう。毎日の、日常の機微に敏感になること。自分は何が好きで何が嫌なんだろう、今どんな音が聞こえているだろうということに、もう一度敏感になってみる。自分の感性や感覚を信じて過ごす、毎日の楽しさが「新発見できる」と思います。そんな一年を過ごし



profile

永楠あゆ美 (えな あゆみ)

1986年東京都生まれ。俳優。2006年に宝塚歌劇団に入団し、7年間男役として活躍。退団後は東京で俳優業を開始。2020年、焼津に移住。2021年から焼津が舞台の映画「海の色は夢のつづき」を製作し、2022年上映。同作では企画・製作・ヒロインを務めた。

ていただけたと思います。

長谷川 もしかししたら、外の世界に触れることで、目の前の環境の素晴らしさに気が付くかもしれません。皆様にとって実りの多い一年になることを心から祈念いたします。

市長 貴重なお話をいただき、ありがとうございます。焼津市としても、市民の皆さんに「焼津の魅力」を再発見していただき、また、市外の方にも魅力を感じてもらえるまちづくりに努めてまいります。次回も楽しみにしております。今年もお二方のますますのご活躍をお祈り申し上げます。



撮影時のみ、安全に配慮しながらマスクを外しました。

進

進化
推進
前進
躍進

～ 今年の漢字 ～

市では、毎年、市営運営目標を漢字一字で表しています。今年の漢字は「進」(すすむ) いたしました。コロナ禍であらゆることが激変し、「進化」する世の中で、デジタル化への対応を「推進」、小さな対話の積み重ねで創る支え合いにより、コロナ禍を乗り越え「前進」、あたたかな水産文化都市焼津の実現に向け「躍進」するまちづくりに取り組んでまいります。

広報やいづがリニューアル

「広報やいづ」は、今号からデザインを大幅にリニューアルしました。より読みやすく、親しみやすい紙面づくりを心掛けてまいります。詳しくは今号16ページをご覧ください。

■リニューアルのポイント

① 表紙のデザインを一新

これまで以上に目を引き、かつ、若い世代にも手に取ってもらえるようなシンプルなデザインとしました。

② 横書き記事・左開きに

スマートフォンやパソコンでも読みやすいよう、全て「横書き記事」とし、それに伴い、紙面の開く方向が「左開き」に変わりました。

③ ユニバーサルフォントで読みやすく

高速道路の標識などにも使用されている、誰もが読みやすい書体である「ユニバーサルフォント」を採用しています。